

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう} 放送原稿（9月28日（金）放送分）

テーマ 新着図書紹介

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。^{かごしまけんりつあま} 鹿児島県立奄
^{みとしよかん} 美図書館です。

今朝は，^{あまみとしよかん} 奄美図書館の新着図書についてご案内します。

まずは，一般書のご案内です。

やっと朝晩が涼しくなってきましたが，皆さん体調はいかがでしょう。季節の変わり目のこの時季におすすめの一冊として，気象予報士で環境省熱中症委員会委員でもある村山貢司^{むらやまこうじ}さんの『体調管理は天気予報で』を紹介します。この本は，季節ごと，さらには月ごとに注意しなければならない病気と天気の関係について，分かりやすく解説しています。例えば，台風接近時は大きく気圧が変化し，低気圧になるので，関節痛，神経痛，めまい，頭痛などの持病を持っている場合は，外出は避け室内を密閉するなどの対策が紹介されています。また通過してから2，3日後は，大陸からの高気圧が乾いた冷たい空気を持ち込んできて，いわゆる秋晴れとなりますが，朝晩が冷え込むので，体調を崩しやすく特に呼吸器系の病気には注意した方がよいそうです。みなさん体験的に思い当たる節があったり，なるほどと納得したりしながら読める本です。

直木賞作家の^{のなみ}乃南アサさんの『地球の穴場』というエッセイ集を紹介しましょう。著者自ら世界中を旅して周り，中国雲南省^{うんなんしょう} 奥地の伝説の理想郷「シャングリラ」，貴重な動植物の多数残るオーストラリア・タスマニア島，アフリカ・ケニアのサバンナなど，パッケージ・ツアーではなかなか行けない場所ばかり。国内では，沖縄や九州新幹線で鹿児島に行った時の様子なども書かれています。あまり観光ガイドには載らない見どころが満載で，大人の旅の楽しみ方を教えてくれる，極上のエッセイ集となっています。

次は，児童書の中から絵本をご案内しましょう。

^{ひらたまさひろ} 平田昌広さんの『だんごうおです。』という絵本です。本当にいる，変な名前の魚の紹介をしています。さらに，その名前から連想する，おかしなものも，ぞくぞく登場します。

「だんごうおです。」「だんごうまいです。」…ひとりで読んでも，みんなで読んでも，吹き出すこと間違いなし。子どもたちが大好きな，楽しさ満載のだじやれの絵本です。登場する22種類の魚の解説も掲載しています。ぜひ読んでみて楽しんでください。

写真家でもある小寺卓矢こでらたくやさんの絵本『いっしょだよ』は、森のなかの様子を写真と言葉で表現しています。大きいのと小さいの。生きてるのと死んでるの。森にはたくさんの「いっしょ」の姿があります。みんなだれもが違う物同士、ひとりとひとりがいるからいっしょ。誰もがひとりではなく、共に生きているんだよ。というメッセージが込められているような気がします。まるで森の中にいるような感覚になれる1冊です。

最後は郷土に関する本のご案内です。

加藤庸二かとうようじさんの『原色ニッポン《南の島》大図鑑』です。6,000以上ある日本の島のうち、人が住んでいる有人島430あまりをすべて訪れている、まさに“島のスペシャリスト”である著者が、トカラ列島、奄美群島、沖縄本島と周辺の島々、八重山諸島ほか、小笠原諸島まで、島の大小、有人無人を問わず、114の島の文化、風土、暮らしなどを美しい写真と、的確な文章で解説してあります。写真がふんだんに掲載されているので、見ているだけで楽園気分を味わえます。

朝晩が涼しくなり、だいぶ過ごしやすくなりました。秋の夜長、じっくり読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。皆様のご利用をお待ちしております。

かごしまけんりつあまみとしよかん
鹿児島県立奄美図書館でした。